



みんなでつながろう！支えあいの輪！  
～生活支援コーディネーター通信～



第6号

令和3年1月発行

高崎市生活支援  
コーディネーター  
通信

# めざせ！ワンハート



## 謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。昨年は、新型コロナ感染拡大に伴い、3月から協議体活動がほとんどできない状況でした。本年も、まずは地域の中で協議体メンバーの皆さん1人ひとりご自身でもできることをできる範囲で行いながら、メンバーの皆さんともコミュニケーションをとれる方法も考えましょう。あんしんセンターを始め関係者との連携も強化していきましょう。そして、1日も早く皆さんと一緒に活動が再開できることを祈っております。



### めざせ！ワンハート♡だるまを完成させよう！プロジェクト

新型コロナ感染症拡大に伴い、第2層協議体情報交換会や区長・民生委員説明会・一般市民へ向けた周知活動ができない状況でした。そこで、今できる一般市民への周知活動として、下記の通り、協議体紹介のパネル展を開催します。

#### みんなでつながろう！支えあいの輪！ 協議体紹介 パネル展示

○日時：令和3年1月30日（土）～2月5日（金） 正午

○会場：高崎市役所 1階ロビー

○内容：パネル展示 「協議体のあゆみ」（令和2年1月に発行し、第2層協議体メンバーに配布した冊子）や各協議体で作成したチラシを掲示します。

支えあい活動紹介動画放映（平日10時～14時。後日、市ホームページに掲載します。）



パネル展で、協議体メンバーや一般市民のメッセージを集め  
「めざせ！ワンハート♡だるま」を完成させようプロジェクトを実施します

「コロナ終息を願い」「協議体メンバーや市民の思いがひとつになることを願って」

このプロジェクトでは、来場された方に備え付けの色紙用紙にメッセージを記入し、メッセージボックスに入れていただきます。メッセージは、模造紙に描かれているだるまにコーディネーターが貼り、「めざせ！ワンハートだるま」を完成させます。協議体メンバーの皆さんには事前にメッセージをいただくことも可能です。（詳細は別紙参照）

### 生活支援コーディネーターよりメッセージ

生活支援体制整備事業が始まり、6年が経ちました。新しい年を迎えSC通信第6号発行にあたり、26地区の第2層協議体からおひとりずつ、メッセージをいただくことが出来ました。ご協力いただきました皆様には深く感謝申し上げます。皆さんからのメッセージを拝読させていただき、熱い思いに胸にこみあげてくるものがありました。事業開始当初は、この事業を理解していただくまでに喧々諤々と話し合いが行われたことを今でも鮮明に思い出します。しかし、あんしんセンターさんや社協さん、そして協議体メンバーの皆さんは、いつも前向きで、どうしたら支え合いを作っていけるだろうとみんな考え、苦しみながらも楽しくこの事業に取り組んできた6年でした。私達第1層生活支援コーディネーターも皆さんと一緒にこの事業に取り組めたこと、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも皆さんと心をひとつに、高崎市内に助け合いの小さな花をたくさん咲かせ、市内一面が助け合いの小さな花でいっぱいになるよう力を合わせて頑張りましょう。本年もどうぞよろしくお願いたします。

第1層生活支援コーディネーター 目崎・小川

# めざせ！ワンハート♡ 第2層 26 地区の協議体メンバーから 「コロナ禍での思いと 今後の展望について」 メッセージをいただきました。

メッセージをお寄せいただきましたみなさん  
ご協力ありがとうございました。



## 〈吉井地区協議体〉齋藤政男さん

「今月は協議体中止です」メンバーと顔を会わせる楽しみが消えました。コロナ禍中「健全」でいることが重要です。コロナに感染することも恐いですがそれ以上に恐いのは絆が絶たれることです。今こそ絆を強めるチャンス。電話・手紙・佳。私は仲間と毎日ラジオ体操を楽しんでいます。大空の下「コロナ退散!」と叫んでいます。



## 〈六郷・北部地区協議体〉添野雄寿さん

高齢者の「孤独感」を払拭させよう！新型コロナウィルスの感染拡大の勢いは収まりません。「ワクチン」等の投薬の開発を望んでいます。この状況下では地域活動も大幅に制限されていますが、当協議体では、スローガンにもなっている「向こう三軒両隣」の実践に心掛け、高齢者の「孤独感」解消に奮闘中です。



## 〈中居・矢中地区協議体〉佐藤志麻さん

順調に進んでいた中居・矢中協議体、居場所『ユウゼンギク』の活動がコロナの影響でストップ。しかし、7月に協議体、10月からは居場所を、再開出来ました。今後は、各町内のニーズを探り、出来ることから支え合いを始めていきたいです。



## 〈乗附地区協議体〉三村 進さん

当地区では各町内の居場所での活動の中から生活支援ニーズの把握を目指して来ました。コロナ収束後は、再びスタート台に戻り当協議体を目指す地域像「見守り・支え合う・顔の見えるふれあいの町」をもう一度確認し合い、実現可能なものを探し出し実行したい。



## 〈榛名地区協議体〉清水好市郎さん

榛名地区協議体には令和元年の5月から参加しています。協議体活動を通して「健康づくり」の大切さを実感。生涯学習活動の一環として「ふれあいウォーキング」を企画し、地域の方と楽しく歩きました。これからも「無理なく」できることを続けていきたいと思ひます。



## 〈高松地区協議体〉森島達夫さん

並榎町のスーパーが9月で閉店し、買物に困窮している高齢者の為に、移動スーパーとくし丸をお願いし、10月より毎週月曜日、四ツ屋町の私共の駐車場に来て頂くことになり利用者に感謝されています。住民同士の支え合いに少しでも貢献出来て良かったです。



## 〈城東・東部地区協議体〉新井正代さん

「で愛・ふれ愛・ささえ愛～つながろう～住み慣れた町で～」をスローガンに愛3燦《そよ風くらぶ》ネットを立ち上げ、活動を広げていきました。過去2回のアンケートを集約し、高齢者の困りごとが把握できました。12月からは4日間限定で「除草・剪定・片付け」の応援に入ります。



## 〈北・東・西地区協議体〉船津保次さん

6月に活動を再開したものの警戒度3により半年で活動休止を余儀なくされ、正に断腸の思いです。対フレイルや認知症予防を意識し、体力・知力維持向上のため、罹患予防に万全を期し今日まで活動を続けてきましたが、今はコロナ禍終息を只管待つのみです。



## 〈長野地区協議体〉中村 保さん

令和元年11月に「長野地区生活支援ガイドブック」を75歳以上の世帯へ配布し役立てていただきました。今後コロナ禍支援も大変ですが、生活支援ガイドブックの方向を踏まえ、会員の皆様と地域の情報交換・支援を力合わせて「安心なまちづくり」を目指していきたいと思ひます。ありがとう小さな親切。



## 〈豊岡地区協議体〉田中祐二さん

環境と人間の間で行われる知覚、感情、思考の伝達。コロナ禍では密閉・密集、密接を避け、消毒は必需品、シェアハウスの居住者や秘境の集落で家族のような助け合い生活、個人情報、プライバシーを意識しないコミュニケーション、組み合わせによる交流を模索しています。



## 〈群馬地区なのはな協議体〉金井正美さん

令和元年度に発足した「王塚おたすけセンター」ですが、令和2年度はコロナ禍の中、昨年同様庭木の伐採除草作業などを中心に51件（前年30件）の依頼を行ってきました。今後、コロナが終息した場合、昨年10月に発足した「女性部」の屋内の各種困りごとへの取り組みを行おうと考えています。



## 〈塚沢・浜尻地区協議体〉三木洋子さん

「コロナ禍の中で思うこと」地区の行事もなくなり、今まで以上に、協議体についての広報活動の場がなくなることに不安を感じる。協議体の会員も高齢化している現在、いかに若い人を取り込むかで、今から先の活動に光が差して来ると思われる。



## 〈倉賀野地区協議体〉石川砂織さん

ここ数ヶ月協議体での会議も実施出来ていないのが現状です。色々模索する中、あるきっかけで1つの妄想が…不安を感じた時、誰かとすぐ繋がる携帯の配布が出来れば少し話をするだけでも心のケアになり健康へと繋がるのでは？と考えていました。



〈倉淵地区協議体〉伊井光也さん

コロナ禍の中、倉淵支え合いくらぶ「くらしくらぶ」の活動が11月からスタートしました。会員同士で支え合い、助け合う活動です。気兼ねなく・無理をせず・お互い様の精神で活動しようというもので、この活動の輪が広がり、長く続くことを願っています。



〈寺尾・城山地区協議体〉田中茂夫さん

コロナ禍で協議体などの集まりが制限され、地域の高齢者の情報が入りにくく心配しています。コロナが早期に終息し、再び活動ができる日を待っています。今は、小さなことでも、できる助け合い活動を続けたいと思っています。



〈岩鼻地区協議体〉吉村利美さん

活動休止となり、皆どう過ごしているのかと日々思い浮かべています。コロナ禍を通じて、集まりの場の困難さ、同時にその大切さを感じ、人とつながれる喜びを思い返します。地域のつながりが絶たれないよう、何ができるかを皆で考え、活動再開を目指したいと思います。



〈箕郷地区協議体〉高橋壮多さん

みのわの郷協議体は、既存の居場所を活用し、また、生活上の不自由さを無くし、誰もが暮らしやすい街にしていこうために活動しています。コロナ禍で活動ができない状況ですが、少人数の集いや運動という新たなニーズに向け、今後繋がる取組みをしていきます。



〈群馬地区さくら協議体〉関島千賀子さん

3年前に中泉地区区民センターに居場所を開設。月1回100円会費で体操、ゲーム、講話等で楽しみ、手作りの軽食で談笑。見守りやゴミ出し支援他助け合いが自然と生まれています。「遠くの親戚より近くの他人」お互い様で気兼ねなく。



〈八幡地区協議体〉櫻井 登さん

コロナ禍の中で生活を「隣人との助け合い」・「お互い様」を大事にする機会かもしれない。今は「支える立場(?)」であっても近い将来「支えられる立場」になるでしょう。協議体活動の理解を深め、私自身の活動が皆様のお役にたてればと考えております。



〈新高尾・中川地区協議体〉中田由起子さん

「私の住む地区ってどんな地区?」この言葉を心に留めると不思議と人・物・暮らしが見えてきます。こんな時だからこそコツコツと自分の住む地区を調べるチャンス!!「感染対策の徹底をしながら~ゆるやかな~社会活動をする」今大切にしている言葉です。



〈大類地区協議体〉関 宏さん

昨年は世界中がコロナに翻弄された1年でした。いつもなら楽しみだった知人・親戚との行き来も随分我慢しました。地域の催しや伝統行事もほとんどありませんでした。今年はコロナを乗り越えるような年にしたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



〈南八幡地区協議体〉高橋鈴子さん

コロナ禍ですべての活動が止まってしまった。それでも、コロナに対応した心構えをしながら、南八幡地区のスローガン「お隣さんを気にかけて安心・安全・健康地域」のように、それぞれに与えられた役割をそれぞれの場所で一生懸命に行っていきたいと思っています。



〈滝川・京ヶ島地区協議体〉江原秀子さん

私の夢は地域の信号付近・休耕地等、草で悩みの種になっているところをお花にできたらと思う。見知らぬ方とも挨拶をかわし笑顔が生まれる気持ちの良い環境に。そこにはゴミは似合いません。散歩のとき、ビニール袋1つを持ち拾う。気づいてくれる方が増えますように!



〈新町地区協議体〉佐藤真喜子さん

諦め、見切り、受容そして創造。3人寄ればはじまりです。マージャンエキスパート、包丁とぎエキスパートのいる平児玉さんの協議体へ、「時が来れば」参上!可能な限り制約を受けての模索のはじまり、ゆるーく(しかもあたたかく心強く)つながる仲間こそ大切。人間すてたもんじゃない…ですよ。



〈片岡地区協議体〉山田和幸さん

地域の様々な福祉に関する「あったらいいな」ということを模索し、新型コロナ禍の中、会議や情報交換も開催には至りませんが、こんな時だからこそ、じっくりと、家庭が、地域が幸せ感の持てる仕組みを協議体として、作れるといいなと思います。



〈佐野地区協議体〉高田 昭さん

大勢の人が集まって楽しくおしゃべりする、そんな普通だと思っていた日常がなくなる。考えられない様な事が毎日続いています。今は近所の方の健康状態に気を配ることくらいしかできません。そんな生活の中、だからこそ協議体の仲間を増やすことが課題だと思っています。



思いをひとつに!  
めざせ!ワンハート♡



## 地域の活動紹介～みんなでつながろう！～

### 新町地区「新町版通信」の発行

つながり



協議体が中止になり→メンバーと会う機会がなくなる  
メンバー同士がどうつながれるか考えた。

### 新町版通信があればメンバーともつながれる！

いろいろなことにアンテナを張りながら生活することが大切。

お便りを通じ「そうか」で終わらないように。自分の区を越え、他の区の活動に関心が持てればよい。

### メンバーの声

情報共有のチラシはいいと思う。



2層メンバーの情報共有を目的に協議体メンバー参加型で手書きのあたたかみがある通信を作成へ

### 「新町地区協議体つうしん」発行にあたってのお願い

新型コロナウイルスの影響により、協議体会議が開催できず、メンバー同士なかなか会えない状況が続いています。改めて地域に目を向けると良いことや困り事など様々なことがあるかと思ひます。新町地区協議体では地域の情報をメンバーで共有し、会議が再開できた時に、情報を持ち寄って皆で話し合えるようにしていきたいと考えています。そこで「新町地区協議体つうしん」を発行し、メンバー同士がつながるツールとして活用していければと思います。協議体メンバーのメッセージを順番に掲載したいので、ご協力をお願いします。

別紙にこんな情報をお書きください。  
例：・コロナ禍でこんな事やってみた  
・こうなったらいいな  
・地域で困ったことがあった  
・メンバーに伝えたいこと

11月20日までに連絡またはお届けください



### 新町地区協議体つうしん 令和2年12月号発行

新型コロナウイルスの影響により、協議体会議が開催できず、メンバー同士なかなか会えない状況が続いています。改めて地域に目を向けると良いことや困り事など様々なことがあるかと思ひます。新町地区協議体では地域の情報をメンバーで共有し、会議が再開できた時に、情報を持ち寄って皆で話し合えるようにしていきたいと考えています。

そこで「新町地区協議体つうしん」を発行し、メンバー同士がつながるツールとして活用していければと思います。協議体メンバーのメッセージを順番に掲載したいので、ご協力をお願いします。

協議体委員の皆様、年初から新型コロナの影響で活動が制限され、ボランティア活動ができず、私達の支援活動も期待している地域の皆様にお礼を申し上げます。日々悩んでいること思ひます。いざ新型コロナも特別豪雨の発生、終息方向に向ふと思ひます。活動再開時には、協議体委員の皆様は全て活動できる様、支障をあれこれ考え、又健康な生活を維持し、じっと待つべき時を待ちましよう。必ずや委員の皆様が活動できる時が来ます。現状は社会全体の流水に任せて生活が、必要と思ひます。春は必ずやってきます。

### 新町地区協議体つうしん完成！

### 吉井地区「みんな元気？カード」

吉井地区協議体では、「コロナ禍で集まることができない協議体にメンバーとメッセージ交換したい！」という思いから「みんな元気？カード」を用いた活動がスタートしました。

メンバーからのメッセージを集め、協議体メンバー全員で思いを共有しようという企画です。鹿と猪がいつも一緒にいる吉井地区です。



カードを配布

メッセージを回収

メッセージまとめ

メンバーへ配布

### 中居・矢中地区 居場所「ユウゼンギク」

中居・矢中地区では、老健くろさわの地域交流室で協議体のモデル居場所として「居場所ユウゼンギク」を開催していましたが、コロナ禍で3月～9月まで休止してきました。そうした中、地域の皆さんからの「いつ始まるの」との声があり、会場を中居公民館に移し、コロナ対策を万全に行い、ルール作りもして活動を再開しました。今後もサポーターの皆さんで意見交換し、無理をせず、できる範囲で協力し合いながら、居場所を継続させていく予定です。感染状況により中止することもあります。



ご意見お待ちしております

生活支援コーディネーター通信は、市内外の協議体の取り組みや様々な助け合い活動を紹介したいと思っております。市内の活動で掲載して欲しい活動があればコーディネーターまでお問い合わせください。その他、ご意見、ご感想もお寄せください。お待ちしております。

発行元：高崎市第1層生活支援コーディネーター  
連絡先：☎：027-321-1319（高崎市長寿社会課）

高崎市 HP「お互い様で支え合う地域づくり（生活支援体制整備事業）」  
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2019011800019/>

